



県民カレッジ連携講座

平成27年度

富山県立大学秋季公開講座

● **テーマ** 医薬品産業を支える生物工学● **日時** 11月7日(土)・14日(土)・21日(土)・28日(土)

各日 13:30 ~ (受付開始 13:00 ~)

● **会場** 富山県立大学 合同棟 L205 会議室受講料
無料

■ 受講対象者

高校生以上の方 50名程度

■ 申込方法

裏面の受講申込書に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。

お申込方法は、FAX、郵送、電話、E-mailいずれも可能です。

☆6講義以上受講された方には「修了証」を授与します。

☆講座の修了者には、県民カレッジの単位(10単位)が認定されます。

■ お申込み・お問合せ

富山県立大学 地域連携センター

〒939-0398 射水市黒河5180

TEL: 0766-56-0604 FAX: 0766-56-0391 e-mail: shogaigakushu@pu-toyama.ac.jp



■ 講義スケジュール及び担当講師

日時	時間	講義項目	講師等
11/7 (土)	13:30 ~ 13:40	開講式	富山県立大学学長 石塚 勝
	13:40 ~ 14:50	医薬品とは	工学部生物工学科教授 中島 範行
	15:00 ~ 16:10	バイキンの禪 <small>ふんどし</small> で相撲を取る! —抗生物質の物語	工学部生物工学科講師 奥 直也
11/14 (土)	13:30 ~ 14:40	植物が作る医薬品 ~植物は化学プラントである~	工学部生物工学科講師 野村 泰治
	14:50 ~ 16:00	酵素反応を用いる医薬品のプロセス化学	工学部生物工学科教授 浅野 泰久
11/21 (土)	13:30 ~ 14:40	医薬品の作用機構と安全性	工学部生物工学科教授 榑 利之
	14:50 ~ 16:00	蛋白質性医薬品	工学部生物工学科講師 牧野 祥嗣
11/28 (土)	13:30 ~ 14:40	蛋白質設計とバイオ医薬品	工学部生物工学科准教授 磯貝 泰弘
	14:50 ~ 16:00	アミノ酸定量用酵素の開発	ERATO 浅野酵素活性分子プロジェクト 酵素工学グループ グループリーダー 松井 大亮
	16:00 ~	閉講式	富山県立大学 地域連携センター所長 前田 幸男

講座の概要

「医薬品産業を支える生物学」 工学部 生物工学科

日時	講師	講義テーマ	講義の概要
11/7 (土)	中島 範行	医薬品とは	医薬品はどのようなものでしょうか。市販薬から医療用医薬品まで、医薬品開発の歴史や方法、医薬品の設計と合成など、医薬品と医薬品産業の特徴や現状を課題なども含めてできるだけわかりやすく紹介します。
	奥 直也	バイキンの禪 ^{ふんどし} で相撲を取る！ —抗生物質の物語	抗生物質はカビや細菌が作る“化学兵器”です。人はそれをチャッカーリ拝借して、感染症の治療に役立てています。なぜよく効くのでしょうか？ どうしてそんなブッウな物を作っているのでしょうか？ 普段は気に留めない薬の“秘密”を一挙大公開！
11/14 (土)	野村 泰治	植物が作る医薬品 ～植物は化学プラントである～	一般的には、「薬」＝「合成品」といったイメージがもたれていますが、実は植物の抽出物に由来する医薬品は今でも広く用いられています。その歴史や現状に加え、最新の研究動向もあわせて概説します。
	浅野 泰久	酵素反応を用いる医薬品のプロセス化学	医薬品を構成する基本的な化合物を、バイオ（酵素）法で合成する手法は、環境に対して安全な化学（グリーンケミストリー）として極めて重要な技術となっています。世界における実例を挙げて紹介します。
11/21 (土)	榊 利之	医薬品の作用機構と安全性	良い薬とは良く効いて安全性が高い（副作用がない）薬だといえるが、医薬品を開発する上で作用機構と代謝様式を解明することが重要です。特に、本講演では医薬品代謝における人種差、個人差や薬の飲み合わせなどについて詳しく説明します。
	牧野 祥嗣	蛋白質性医薬品	分子量の小さな有機分子の他に、大きな蛋白質も医薬品として利用されています。例えば、免疫に関連する抗体を利用した医薬品はがんやリウマチへ有効であり、注目を集めています。現在利用されている蛋白質性医薬品、および将来の展望について解説します。
11/28 (土)	磯貝 泰弘	蛋白質設計とバイオ医薬品	近年、ヒトのゲノム情報や蛋白質の立体構造情報から、計算科学的な手法を駆使して合理的にリード化合物を設計する手法が注目されています。本講演では、このような手法による医薬品開発について、実例を挙げて解説します。
	松井 大亮	アミノ酸定量用酵素の開発	健康状態により血中や尿中のアミノ酸量が変化することが知られてきており、アミノ酸の定量が次世代の健康診断法として注目されています。アミノ酸を定量し分析できる高選択的な酵素を見出し、酵素を用いた迅速簡便なアミノ酸定量法について紹介します。

平成27年度 富山県立大学秋季公開講座 受講申込書

FAX 0766-56-0391

ふりがな		男・女
氏名		歳
住所	〒 —	電話番号 — —
県民カレッジ カード(☆)	有	県民カレッジカード番号()
	無	カード発行(無料)の希望(有・無)

☆県内の生涯学習のパスポートとして学習の足跡を記録し、学習活動を支援するために配布しているカードです。単位シールを貼ることで、取得単位を把握することができます。

※記載いただいた個人情報は、本講座に関する業務のみに使用し、それ以外の目的では使用しません。